

令和3年度 省庁別財務書類の概要

国土交通省

- ・単位未満切り捨てのため、合計額が一致しないことがあります。
- ・単位未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合は「-」で表示しています。

国土交通省の任務と組織等の概要

国土交通省の任務（国土交通省設置法第3条）

国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、観光立国の実現に向けた施策の推進、気象業務の健全な発達並びに海上の安全及び治安の確保を図ること。

組織等

年度末定員・・・ 58,900人

本省内部部局

大臣官房

総合政策局

国土政策局

不動産・建設経済局

都市局

水管理・国土保全局

道路局

住宅局

鉄道局

自動車局

海事局

港湾局

航空局

北海道局

政策統括官

国際統括官

審議会等

審議会等

施設等機関

国土交通政策研究所

国土技術政策総合研究所

国土交通大学校

航空保安大学校

特別の機関

国土地理院

小笠原総合事務所

自転車活用推進本部

海難審判所

地方支分部局

地方整備局

北海道開発局

地方運輸局

地方航空局

航空交通管制部

外局

観光庁

気象庁

運輸安全委員会

海上保安庁

省庁別財務書類とは

省庁別財務書類は、各省庁のこれまでの予算執行の結果である資産や負債などのストックの状況、当該年度の費用や財源などのフローの状況といった財務状況を一覽でわかりやすく開示する観点から企業会計の考え方及び手法(発生主義、複式簿記)を参考として、平成14年度決算分より作成・公表しているものです。

省庁別財務書類においては、一般会計及び特別会計を合算した「省庁別財務書類」のほか、参考として各省庁の業務と関連する事務・事業を行っている独立行政法人などを連結した「省庁別連結財務書類」も作成・公表しています。

貸借対照表(令和3年度末)

(単位:十億円)

	令和2年度末 (令和3年3月31日)	令和3年度末 (令和4年3月31日)		令和2年度末 (令和3年3月31日)	令和3年度末 (令和4年3月31日)
<資産の部>			<負債の部>		
現金・預金	394	334	未払金等	56	59
たな卸資産	73	76	賞与引当金	43	33
未収金等	565	511	借入金	515	554
貸付金	803	736	退職給付引当金	586	593
貸倒引当金	▲ 38	▲ 38	他会計繰戻未済金	2	-
有形固定資産	150,747	152,562	その他の負債	779	705
国有財産(公共用財産除く)	3,628	3,479			
公共用財産	146,767	148,730			
(うち公共用財産用地)	39,858	40,014			
(うち公共用財産施設)	106,538	108,366			
物品	352	353			
出資金	14,894	15,175			
その他の資産	51	55			
資産合計	167,493	169,412	負債合計	1,984	1,945
			<資産・負債差額の部>		
			資産・負債差額	165,508	167,466
			負債及び資産・負債差額合計	167,493	169,412

業務費用計算書(令和3年度)

(単位:十億円)

	令和2年度 (自 令和 2年4月 1日) (至 令和 3年3月31日)	令和3年度 (自 令和 3年4月 1日) (至 令和 4年3月31日)
人件費	324	326
退職給付引当金等繰入額	57	70
空港等整備費等	86	59
補助金等	4,158	4,209
委託費等	10	9
独立行政法人運営費交付金	62	45
一般会計への繰入	0	0
庁費等	245	396
減価償却費	3,199	3,274
支払利息	1	0
資産処分損益	490	446
その他の業務費用	21	22
本年度業務費用合計	8,657	8,862

～省庁別財務書類(国土交通省)の概要～

国土交通省の省庁別財務書類においては、一般会計及び特別会計（自動車安全特別会計、東日本大震災復興特別会計）を合算（会計間取引については相殺消去）して作成しています。

また、ここでは「貸借対照表」と「業務費用計算書」を中心に説明していますが、このほか、資産・負債差額の増減を要因別に表している「資産・負債差額増減計算書」、財政資金の流れを決算を組み替えて区別に明らかにしている「区分別収支計算書」、さらに各計算書の附属明細書も作成しています。

詳細については、別途公表している「省庁別財務書類」、「特別会計財務書類」をご参照ください。

～貸借対照表のポイント～

（資産）

- 貸付金には、地方公共団体及び民間事業者等に対する貸付金を計上しています。
- 国有財産（公共用財産を除く）には、空港に係る用地等を計上しています。
- 公共用財産用地には、道路用地及び治水用地等を計上しています。
- 公共用財産施設には、道路施設及び治水施設等を計上しています。
- 出資金には、国有財産として管理されている政府出資等のうち、政策目的をもって保有しているものを計上しています。

（負債）

- 未払金等には、P F I事業者及び補助率差額等に係る未払金等を計上しています。
- 借入金には、財政融資資金及び地方公共団体からの借入金を計上しています。
- 退職給付引当金には、退職手当及び整理資源等に係る引当金を計上しています。

～業務費用計算書のポイント～

（費用）

- 人件費には、職員基本給、職員諸手当、超過勤務手当、退職手当、児童手当、国家公務員共済組合負担金等を計上しています。
- 補助金等には、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第2条第1項で規定する補助金等に該当するものを計上しています。
- 減価償却費には、有形固定資産及び無形固定資産に係る減価償却費を計上しています。
- 資産処分損益には、たな卸資産及び有形固定資産等の売却、除却等の処分に伴い生じた損益を計上しています。

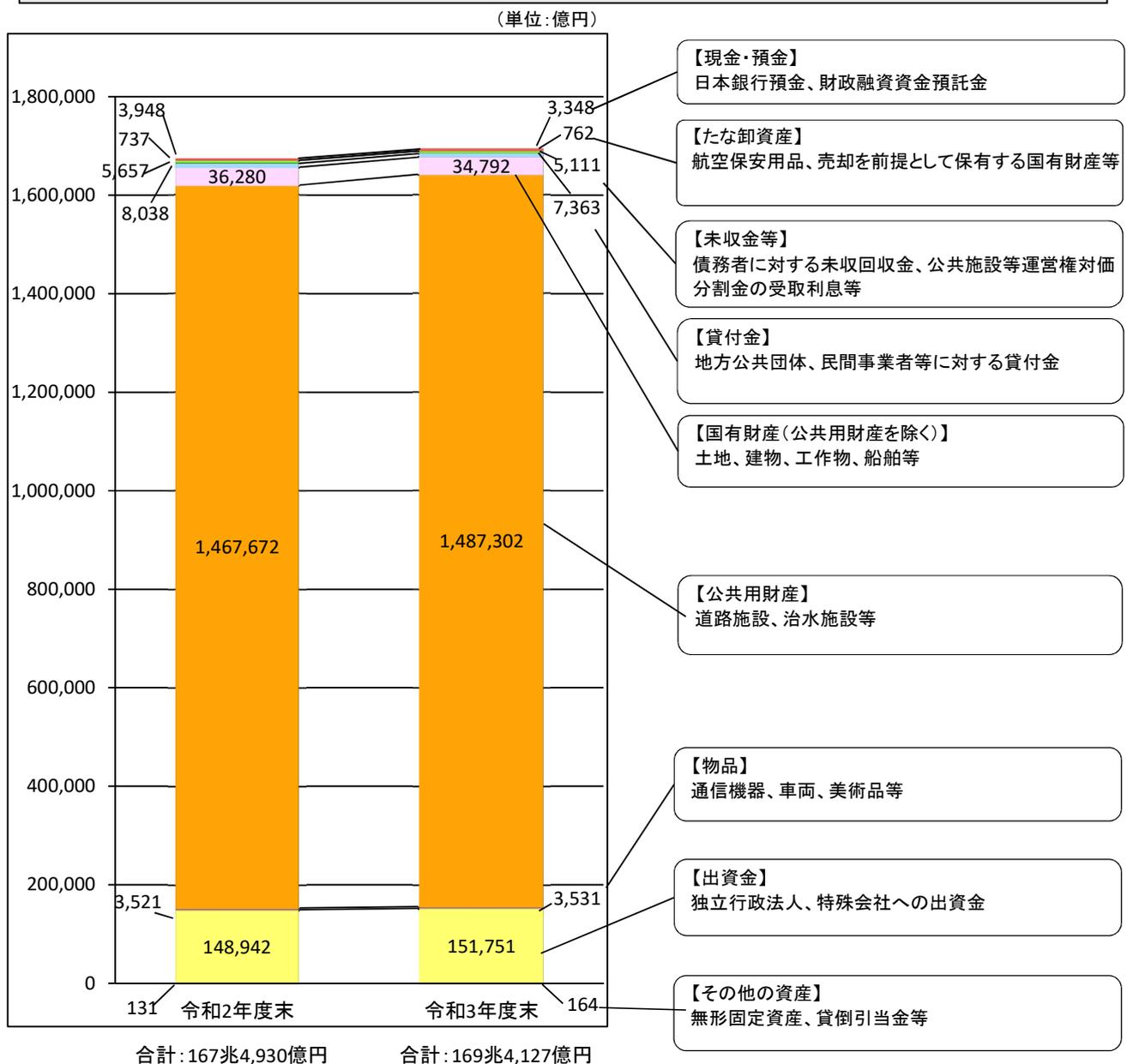
※業務費用計算書には、国の業務実施に伴い発生した費用を発生主義で計上しています。

省庁別財務書類 ストックの状況（貸借対照表）

資産（169兆4,127億円:前年度比+1兆9,197億円）

主な増減項目について

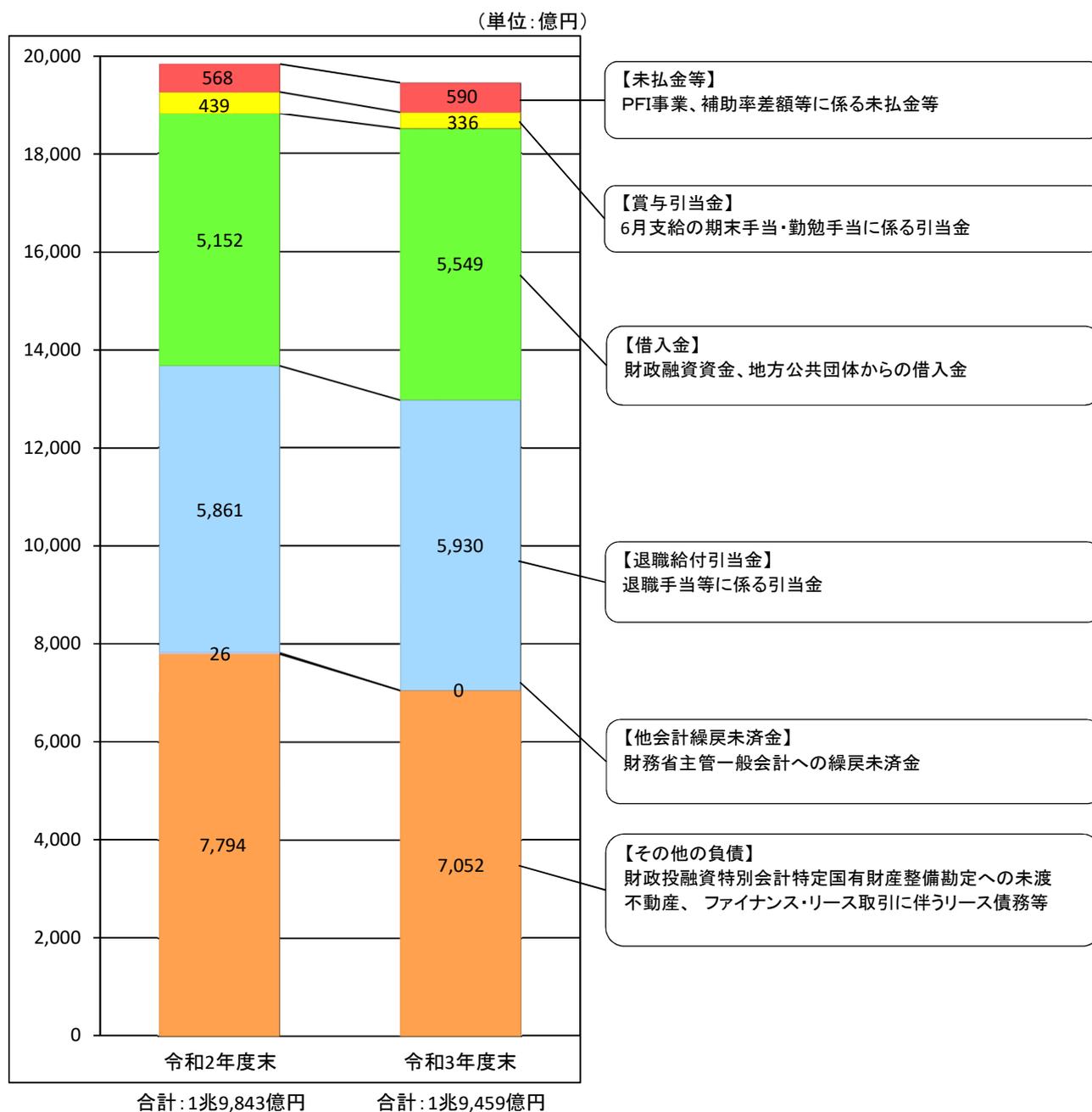
- ・公共用財産 148兆7,302億円（前年度比+1兆9,629億円）
 - …道路施設、治水施設等の公共用財産施設の増 +1兆8,278億円 等
- ・出資金 15兆1,751億円（前年度比+2,808億円）
 - …(独)日本高速道路保有・債務返済機構への出資金の評価増 +2,642億円 等
- ・国有財産(有形固定資産)(公共用財産を除く) 3兆4,792億円（前年度比▲1,488億円）
 - …旧気象庁大手町庁舎敷地を財務省へ引継いだことによる土地の減 ▲1,357億円 等
- ・貸付金 7,363億円（前年度比▲674億円）
 - …地方公共団体に対する地方道路整備臨時貸付金の回収による減 ▲198億円 等



負債(1兆9,459億円:前年度比▲383億円)

主な増減項目について

- ・その他の負債 7,052億円 (前年度比▲742億円)
 - …財政投融资特別会計特定国有財産整備勘定への未渡不動産の減 ▲758億円 等
- ・借入金 5,549億円 (前年度比+396億円)
 - …空港整備に要する財政融資資金からの借入金の増 +724億円 等

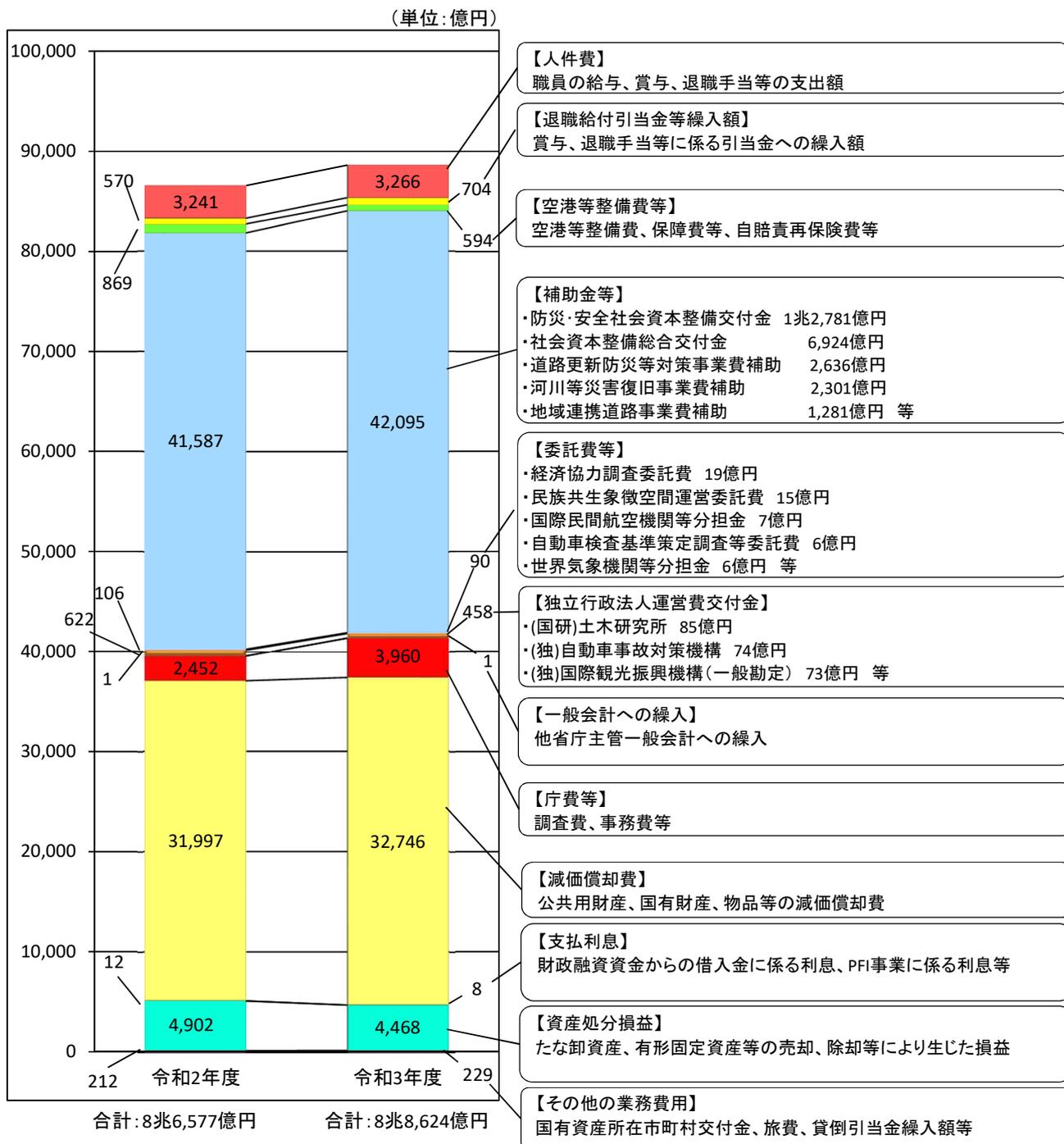


省庁別財務書類 フローの状況(業務費用計算書)

費用(8兆8,624億円:前年度比+2,046億円)

主な増減項目について

- ・庁費等 3,960億円 (前年度比+1,508億円)
 - …観光振興調査費の支出額の増 +116億円 等
- ・減価償却費 3兆2,746億円 (前年度比+748億円)
 - …公共用財産の減価償却費の増 +701億円 等



(参考)省庁別連結財務書類について

省庁別連結財務書類は、省庁別財務書類に独立行政法人などの財務諸表を連結したものであり、参考情報として作成・公表しています。

連結貸借対照表(令和3年度末)

(単位:十億円)

	2年度 (令和3年3月31日)	3年度 (令和4年3月31日)	2年度 (令和3年3月31日)	3年度 (令和4年3月31日)
< 資産の部 >			< 負債の部 >	
現金・預金	4,775	4,233	未払金等	1,693
有価証券	2,791	3,277	債券	50,209
たな卸資産	670	516	借入金	24,026
未収金等	2,638	2,807	退職給付引当金	968
貸付金	28,376	28,167	その他の引当金	493
破産更生債権等	296	272	他会計繰戻未済金	2
割賦債権	2,378	2,251	その他の負債	3,005
貸倒引当金	▲ 261	▲ 241		
有形固定資産	219,706	221,909	負債合計	80,400
国有財産等(公共用財産を除く)	25,500	24,971		
公共用財産	192,364	195,065	< 資産・負債差額の部 >	
(うち公共用財産用地)	49,431	49,643	資産・負債差額	181,741
(うち公共用財産施設)	139,426	141,488		
物品等	1,840	1,872	負債及び資産・負債差額合計	262,141
無形固定資産	609	613		
出資金	97	95		
その他の資産	60	62		
資産合計	262,141	263,966		263,966

連結業務費用計算書(令和3年度末)

(単位:十億円)

	2年度 (自 令和 2年4月 1日) (至 令和 3年3月31日)	3年度 (自 令和 3年4月 1日) (至 令和 4年3月31日)
人件費	462	463
退職給付引当金等繰入額	82	92
売上原価	1,015	927
空港等整備費	85	58
補助金等	3,969	4,029
委託費等	18	18
他会計への繰入	0	0
庁費等	242	395
減価償却費	4,675	4,772
支払利息等	595	562
その他の業務費用	1,718	1,604
本年度業務費用合計	12,864	12,924

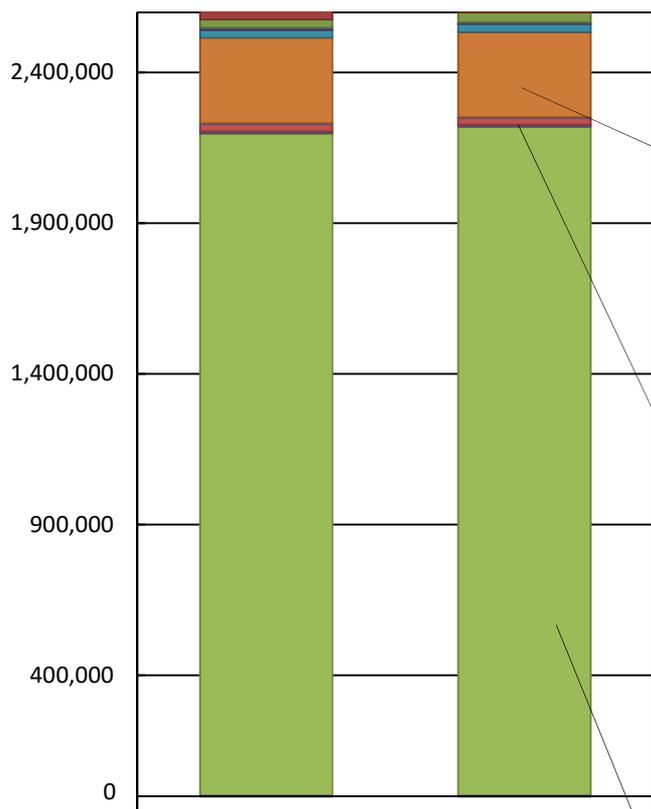
省庁別連結財務書類ストックの状況(貸借対照表)

資産 (263兆9,661億円)

主な増減項目について(対前年度末比: +1兆8,246億円)

- ・公共用財産 195兆656億円 (前年度末比: +2兆7,007億円)
 - … 国土交通省における、公共用財産の増 等
- ・有価証券 3兆2,777億円 (前年度末比: +4,857億円)
 - … (独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構における、現金・預金の増 等
- ・現金・預金 4兆2,330億円 (前年度末比: ▲5,428億円)
 - … (独) 日本高速道路保有・債務返済機構における、現金・預金の減 等

(単位: 億円)



	2年度末	3年度末
現金・預金	47,759	42,330
有価証券	27,919	32,777
たな卸資産	6,707	5,162
未収金等	26,387	28,072
貸付金	283,765	281,673
破産更生債権等	2,961	2,726
割賦債権	23,783	22,517
貸倒引当金	▲ 2,615	▲ 2,411
無形固定資産	6,099	6,134
有形固定資産	2,197,060	2,219,092
出資金	979	956
その他の資産	606	629

合計: 262兆1,415億円

合計: 263兆9,661億円

～主な科目の内訳～

【貸付金】

- ・(独) 住宅金融支援機構 238,160億円
- ・(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 37,100億円
- ・国土交通省 7,363億円 等

【割賦債権】

- ・(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 18,929億円
- ・(独) 水資源機構 2,322億円 等

【有形固定資産】

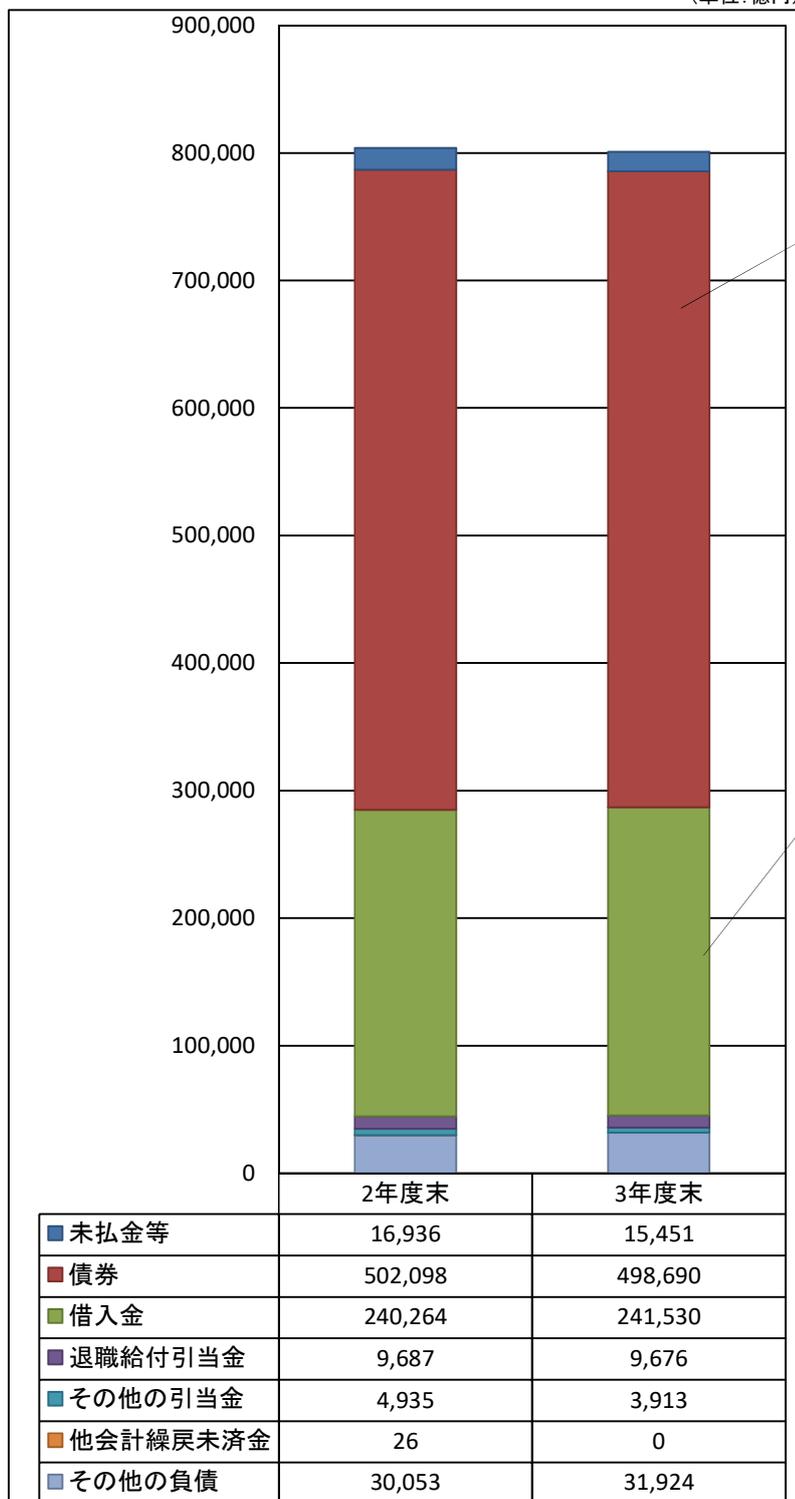
- 国有財産等 249,714億円
 - ・(独) 都市再生機構 112,631億円
 - ・(独) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構 68,412億円 等
- 公共用財産 1,950,656億円
 - ・国土交通省 1,487,302億円
 - ・(独) 日本高速道路保有・債務返済機構 402,183億円 等
- 物品等 18,721億円
 - ・(独) 日本高速道路保有・債務返済機構 9,118億円
 - ・国土交通省 3,531億円 等

負債（80兆1,186億円）

主な増減項目について(対前年度末比:▲2,816億円)

- ・債券 49兆8,690億円（前年度末比:▲3,408億円）
 - …（独）日本高速道路保有・債務返済機構における、債券の発行による減 等
- ・未払金等 1兆5,451億円（前年度末比:▲1,485億円）
 - …（独）日本高速道路保有・債務返済機構における、未払金の減 等

(単位:億円)



～主な科目の内訳～

【債券】

- ・（独）日本高速道路保有・債務返済機構 216,567億円
- ・（独）住宅金融支援機構 213,988億円
- ・（株）中日本高速道路 16,006億円 等

【借入金】

- ・（独）都市再生機構 90,154億円
- ・（独）日本高速道路保有・債務返済機構 61,954億円
- ・（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 51,225億円 等

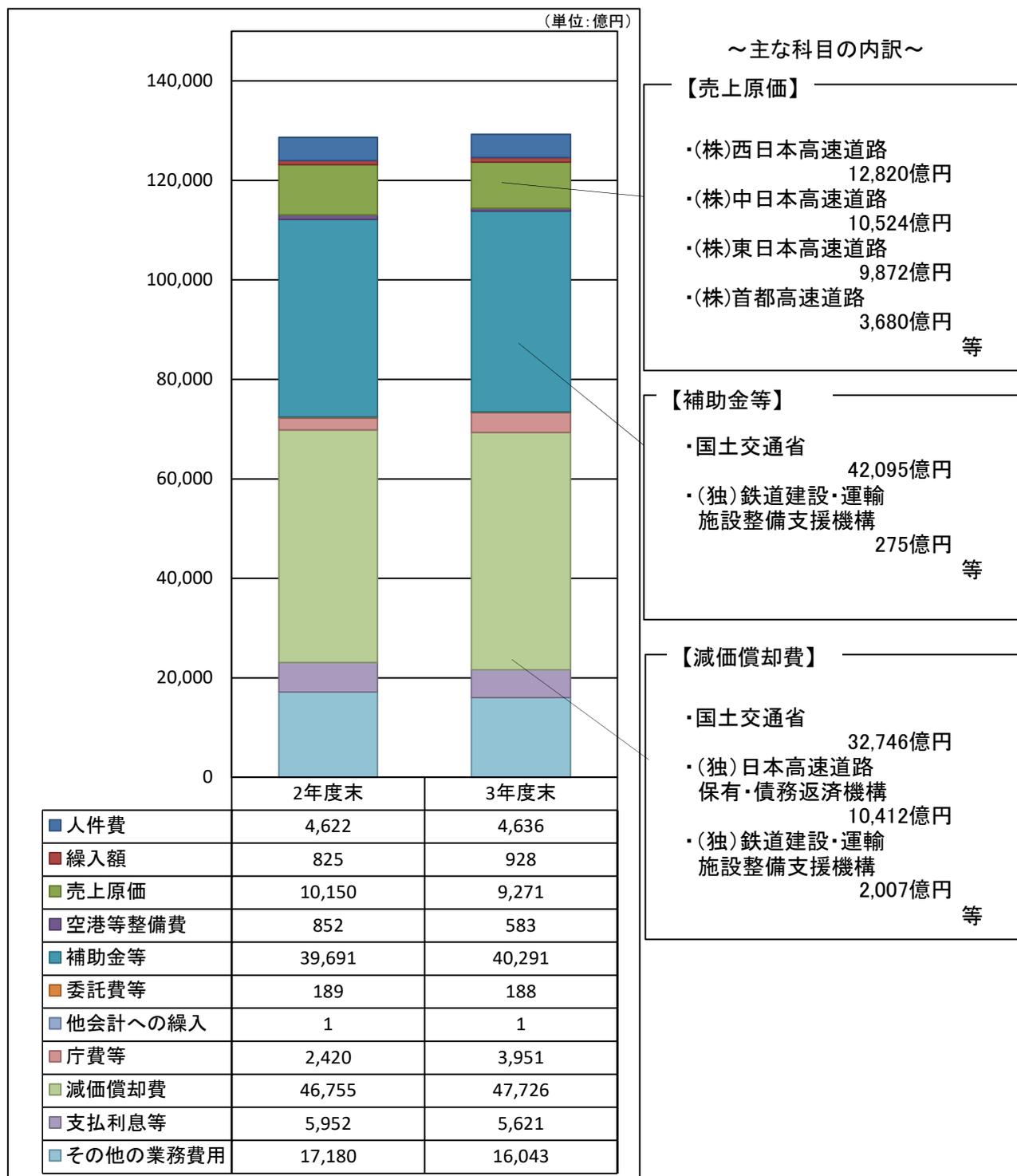
合計:80兆4,002億円

合計:80兆1,186億円

省庁別連結財務書類 フローの状況(業務費用計算書) 費用 (12兆9,244億円)

主な増減項目について(対前年度比: +601億円)

- ・庁費等 3,951億円 (前年度比: +1,531億円)
 - … 国土交通省における、庁費等の増 等
- ・減価償却費 4兆7,726億円 (前年度比: 971億円)
 - … 国土交通省における、減価償却費の増 等



合計: 12兆8,643億円

合計: 12兆9,244億円

連結対象法人の範囲と会計処理について

連結財務書類は、各省庁の業務と関連する事務・事業を行っている法人を連結対象としています。なお、この各省庁との「業務関連性」により連結する独立行政法人などは、『各省庁が監督権限を有し、各省庁から財政支出を受けている法人』(以下、「連結対象法人」という。)とし、監督権限の有無及び財政支出の有無によって業務関連性を判断しています。

また、連結に際しては、本来であれば会計処理の基準を統一することが望ましいと考えられますが、事務負担などの観点から困難であるため、基本的には、連結対象法人の既存の財務諸表を利用し、連結対象法人に固有の会計処理について、連結に際して必要な修正を行った上で連結しています。

○連結の際の具体的な会計処理例

国の会計においては出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としていますが、連結対象法人では出納整理期間が設けられていません。このため、連結に際しては、国の会計年度に合わせて、連結対象法人においても、本会計年度末に国の会計との出納整理期間中の受払等は終了したものととして修正を行ったうえで、連結対象法人への出資金や運営費交付金等の相殺消去を行っています。

※令和3年度連結財務書類における連結対象法人は以下のとおりです。

○特殊会社 8法人

- ・新関西国際空港株式会社
- ・成田国際空港株式会社
- ・東日本高速道路株式会社
- ・中日本高速道路株式会社
- ・西日本高速道路株式会社
- ・首都高速道路株式会社
- ・阪神高速道路株式会社
- ・本州四国連絡高速道路株式会社

○独立行政法人 15法人

- ・国立研究開発法人土木研究所
- ・国立研究開発法人建築研究所
- ・国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
- ・独立行政法人海技教育機構
- ・独立行政法人航空大学校
- ・独立行政法人自動車技術総合機構
- ・独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構
- ・独立行政法人国際観光振興機構
- ・独立行政法人水資源機構
- ・独立行政法人自動車事故対策機構
- ・独立行政法人空港周辺整備機構
- ・独立行政法人都市再生機構
- ・独立行政法人奄美群島振興開発基金
- ・独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構
- ・独立行政法人住宅金融支援機構

合 計 23 法人